

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（グローバル展開プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

人類の文化遺産継承のための国際共同研究

研究テーマ名

逸失の危機にある文化遺産情報の保全・復元・活用に関する日・欧・アジア国際共同事業

責任機関

国立大学法人京都大学

研究実施期間

令和元年10月～令和4年3月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者・グループリーダー	稲葉 穰	京都大学・人文科学研究所・教授
グループリーダー	吉井 秀夫	京都大学・大学院文学研究科・教授
分担者	安岡 孝一	京都大学・人文科学研究所・教授
分担者	岩城 卓二	京都大学・人文科学研究所・教授
分担者	向井 佑介	京都大学・人文科学研究所・准教授
分担者	永田 知之	京都大学・人文科学研究所・准教授
分担者	下垣 仁志	京都大学・大学院文学研究科・准教授
分担者	内記 理	京都大学・大学院文学研究科・助教

配分（予定）額

（単位：円）

令和元年度	令和2年度	令和3年度
5,200,000円	10,400,000円	10,400,000円

※令和2年度・令和3年度については予定額

研究目的の概要

21世紀に入り、紛争や災害、環境の変化によって数多くの人類の文化遺産が失われつつある。文化遺産の学術研究の情報を、失われた文化を後世に残す貴重な手掛かりとするためには、国の枠組みを超えて横断的に史料を検索・活用できるネットワーク構築が必要である。そこで本研究では、東・西南アジア諸国の遺跡等に関する我が国の学術調

査の蓄積をもとに、同様の史資料を有する日・欧・アジアの各機関の専門家が協働することで、文化遺産情報の統合化、その復元・保全・活用を通じて、文化遺産の保護と未来への継承にむけた持続的連携を目指す。

研究計画の概要

オーストリア、韓国、アフガニスタンの共同研究者とともにワークショップを開催し、文化遺産情報の保全と活用に関する共通認識と作業方針を形成する。これに基づいて成果を公開すべく、朝鮮半島や中央アジア、北西インドにおける京都大学考古学調査資料の精査とデジタル化を行い、さらに国際的なデータ形式の共通化をはかり、将来的に統合データベースとして運用するための準備を行う。